



北上市立大学（仮称）基本構想の 策定について

令和7年3月28日
市議会全員協議会

1-1.はじめに:北上市発展の礎～歴史のターニングポイント

仙台藩と盛岡藩の境、奥州街道の宿場町

1890 (M23) 東北線開通

1924 (T13) 北上線開通

昭和初期 工場誘致構想

**1938 (S14) 県内2事例目の黒沢尻工業高校を誘致
(当時の年間歳出の2倍の建設経費を負担)**

1954 (S29) 企業誘致のため1町6村合併、「北上市」誕生

1965 (S40) 北上工業団地分譲開始、企業集積が加速

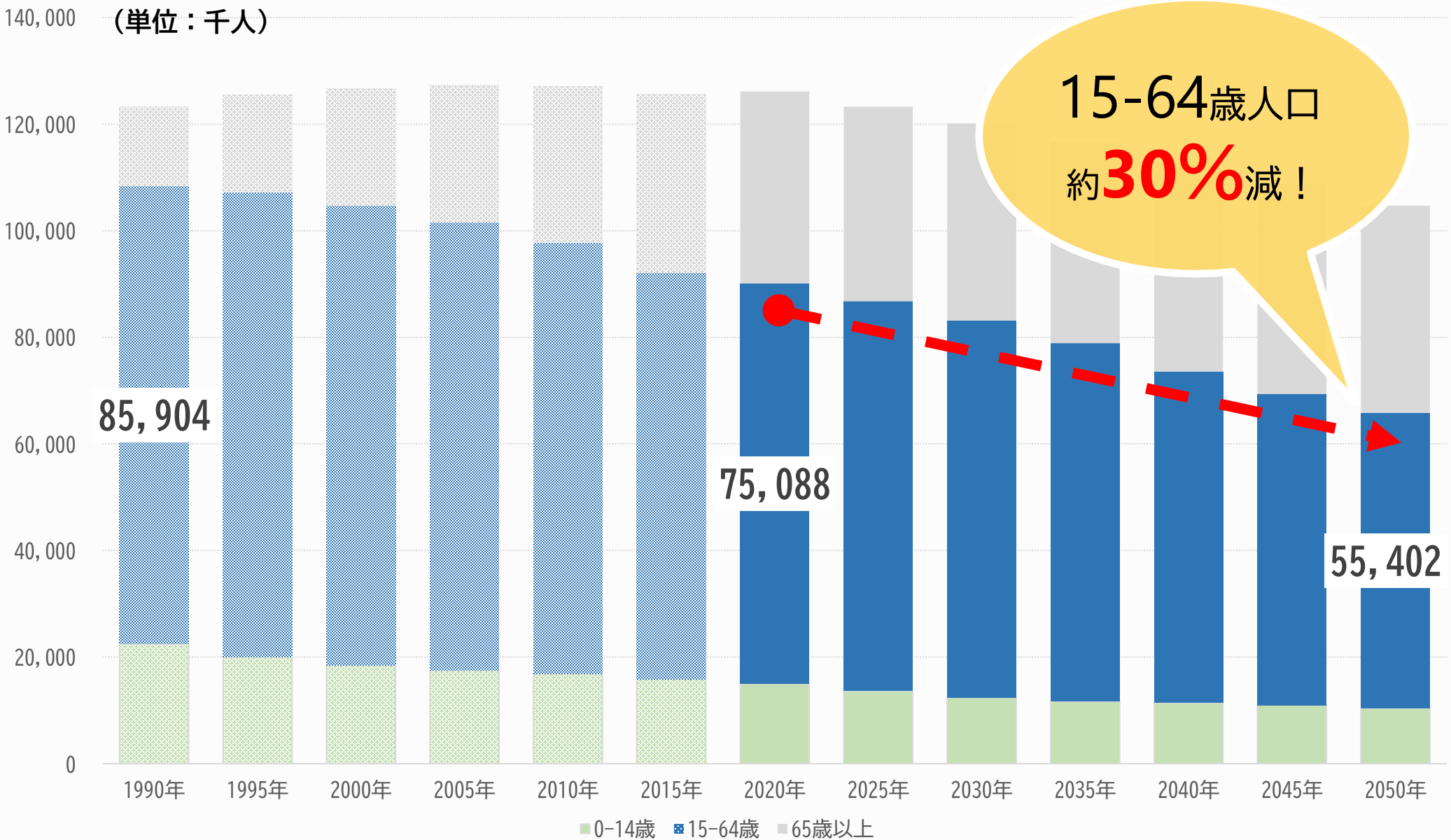
1991 (H3) 北上市、江釣子村、和賀町が合併し、現在の市域に



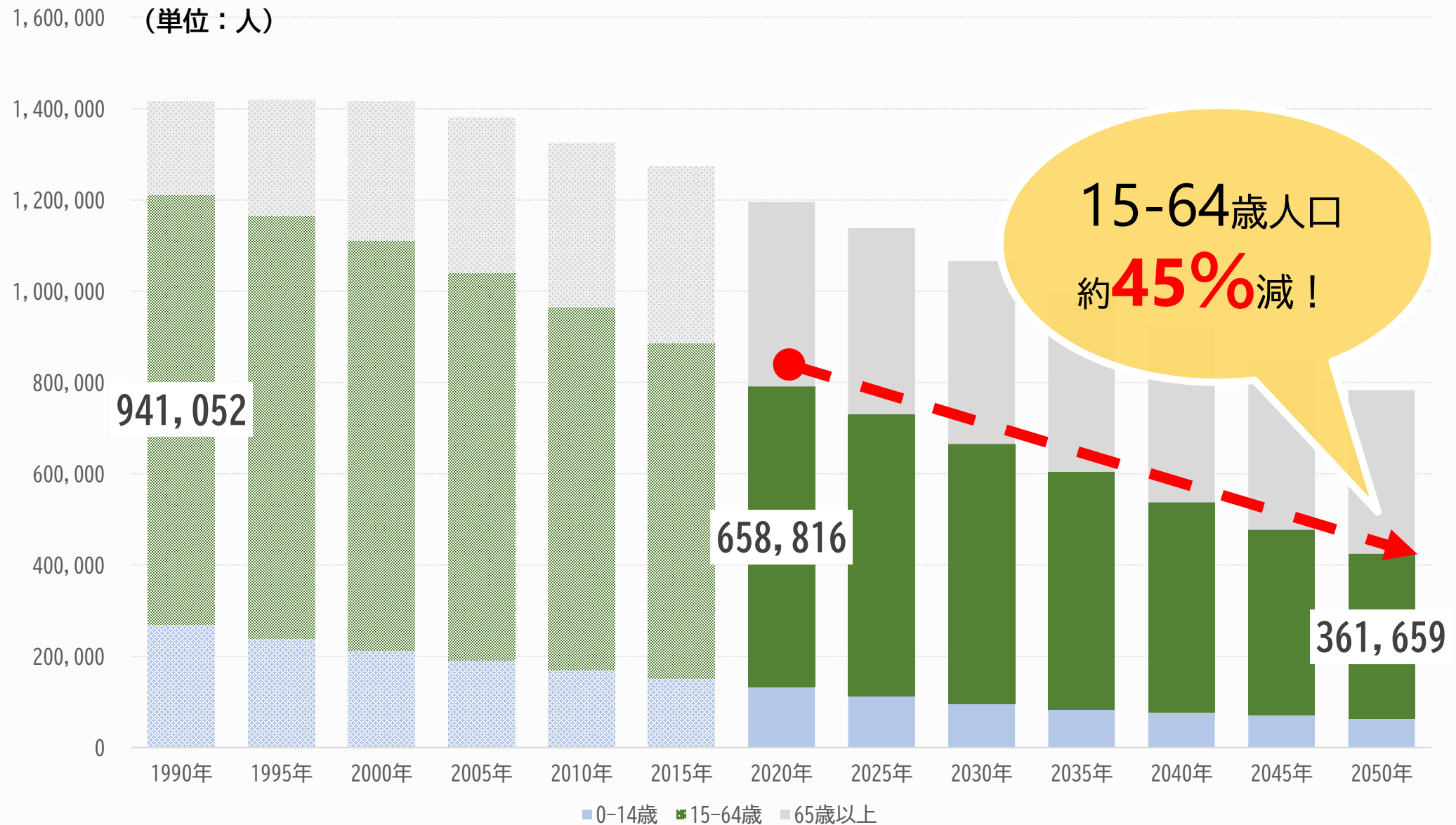
企業誘致などを先駆ける「前に進み続ける精神」

「優秀な人材の育成」が企業誘致成功の引き金に

1-2.はじめに:生産年齢人口の減少:全国

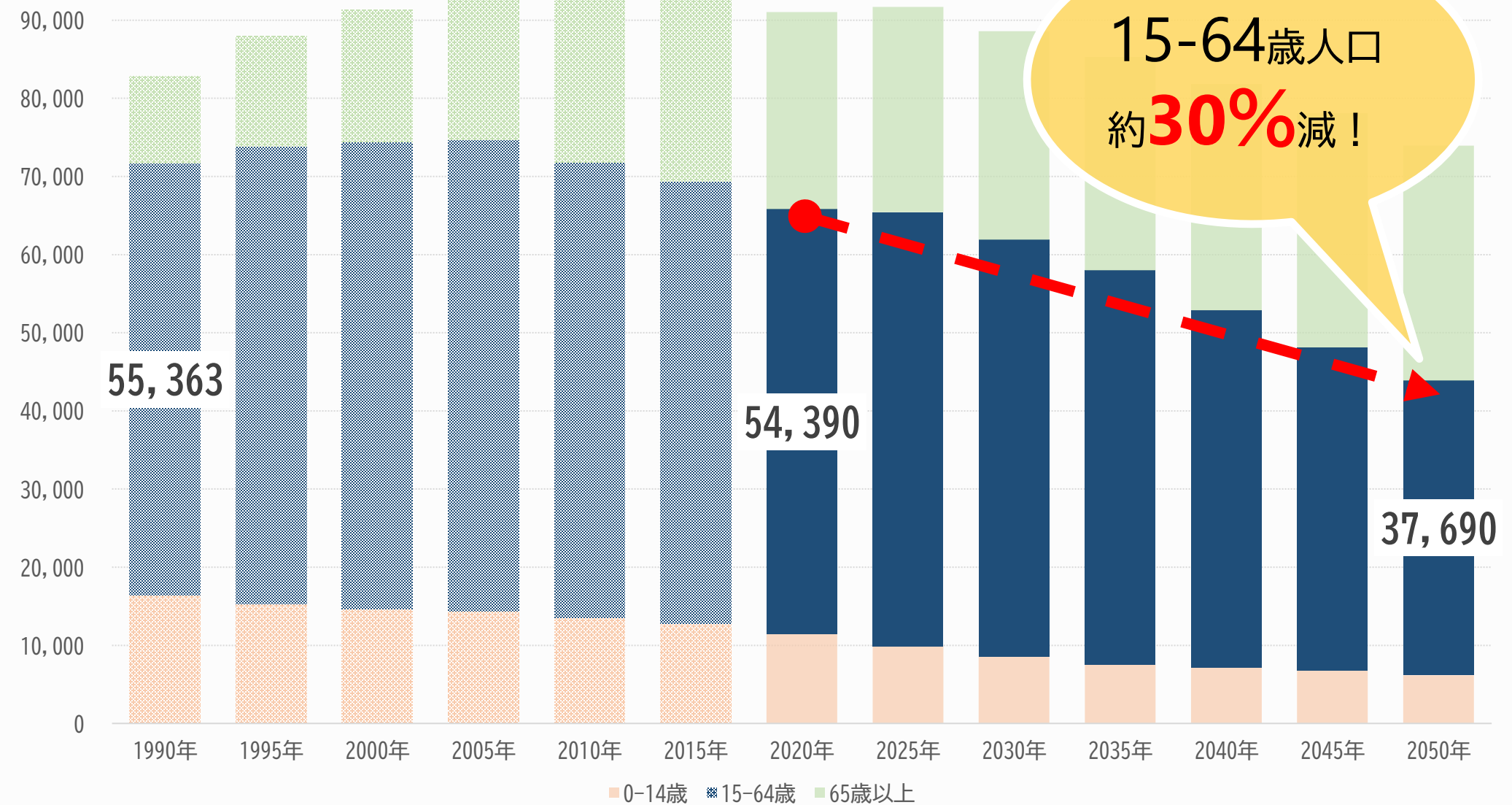


1-2.はじめに:生産年齢人口の減少:岩手県



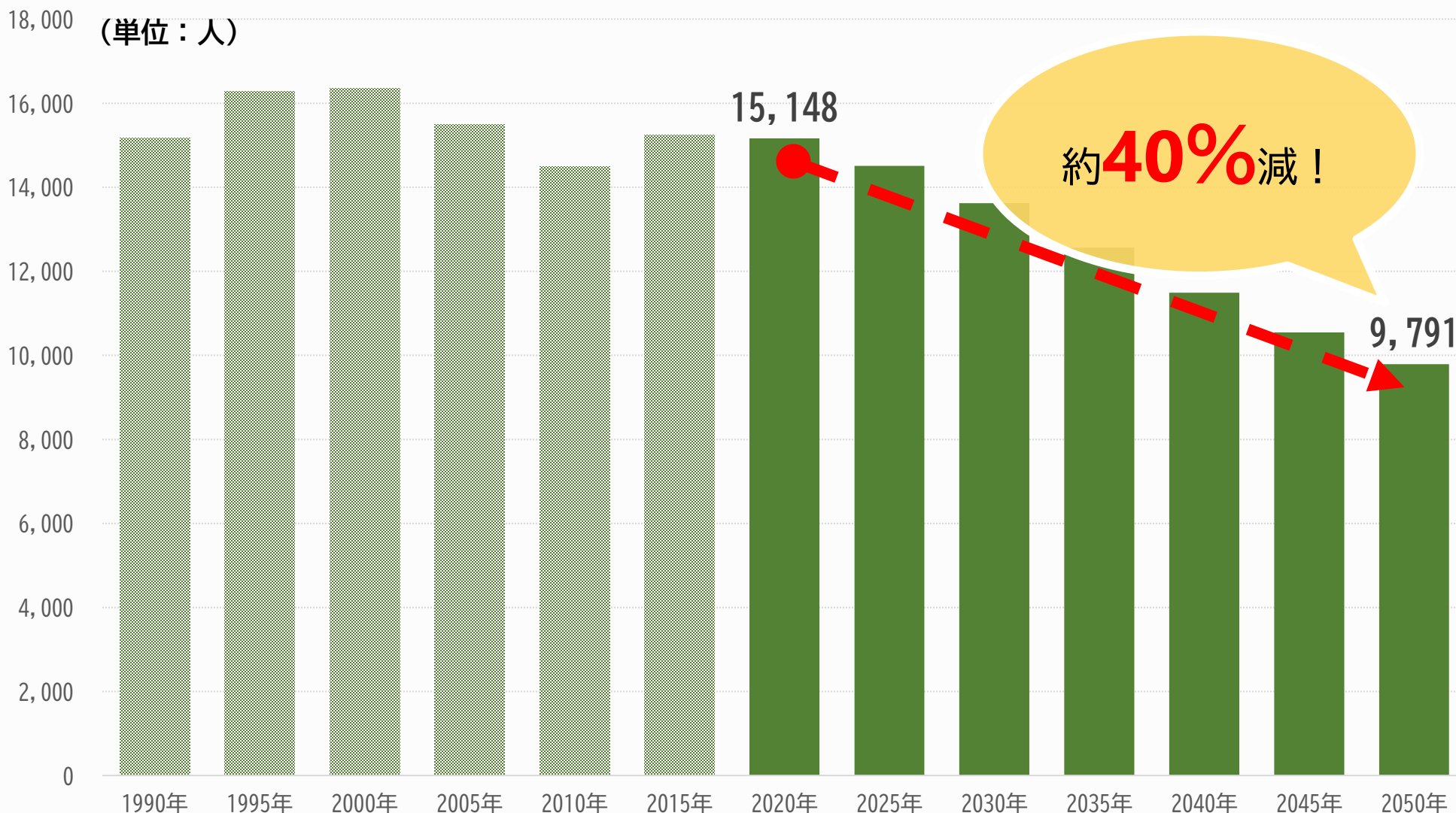
1-2.はじめに:生産年齢人口の減少：北上市

100,000 (単位：人)



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

例: 製造業就業者数の推計



1-4.はじめに:市民サービスへの影響



若い世代・働く世代が **30%以上**減る未来に向けて

- ・じっと堪え忍ぶのか？
- ・自発的に行動するのか？



若い世代・働く世代の減少

就業者の減少

企業投資の減少

市税収入の減少

市民サービス縮小への覚悟が必要

目指す未来像

縮小・変化し続ける社会において、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさの実現を核とした、持続可能な活力ある社会



求められること

「知の総和」(数×能力)の維持・向上

(縮小・変化し続ける社会においては各人の能力向上)

人口減少を各人の能力向上で補い・発展させる必要性大

**優秀な人材育成、研究開発を担う高等教育機関の
設置が必須である**

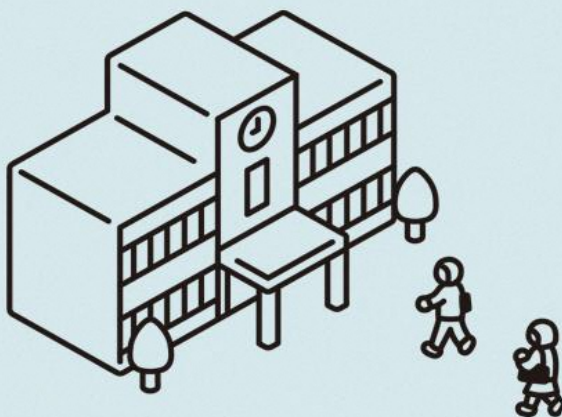
1-6.はじめに：迫られる選択

“いま” の選択

大学なし



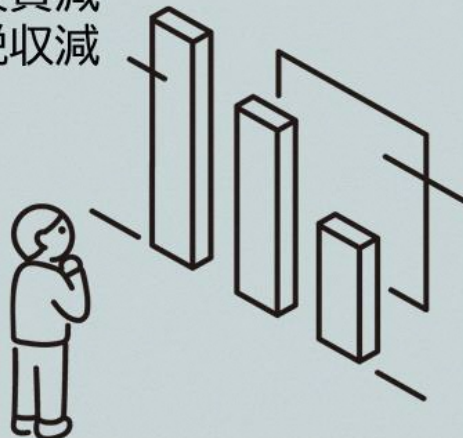
大学あり



選択の意味

産業構造の放置

- ➡ 投資減
- ➡ 税収減



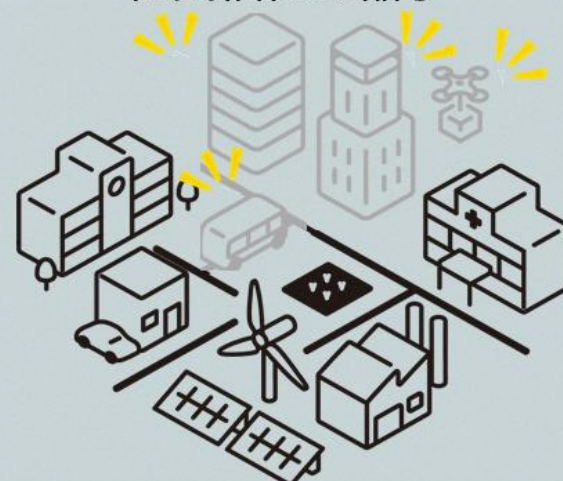
産業の構造転換の支援等

- ➡ 投資維持
- ➡ 税収維持

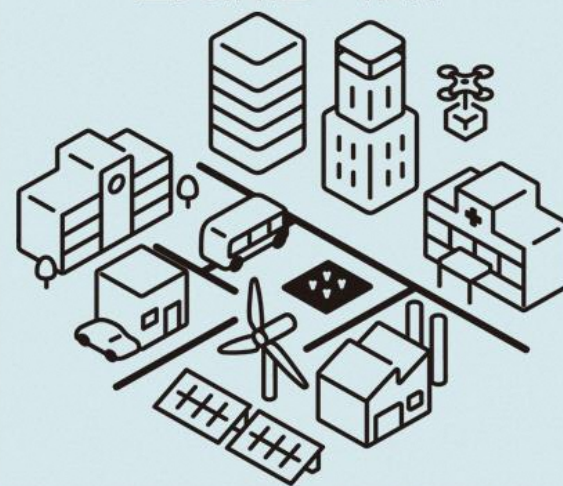


“未来” のすがた

住民福祉の縮小

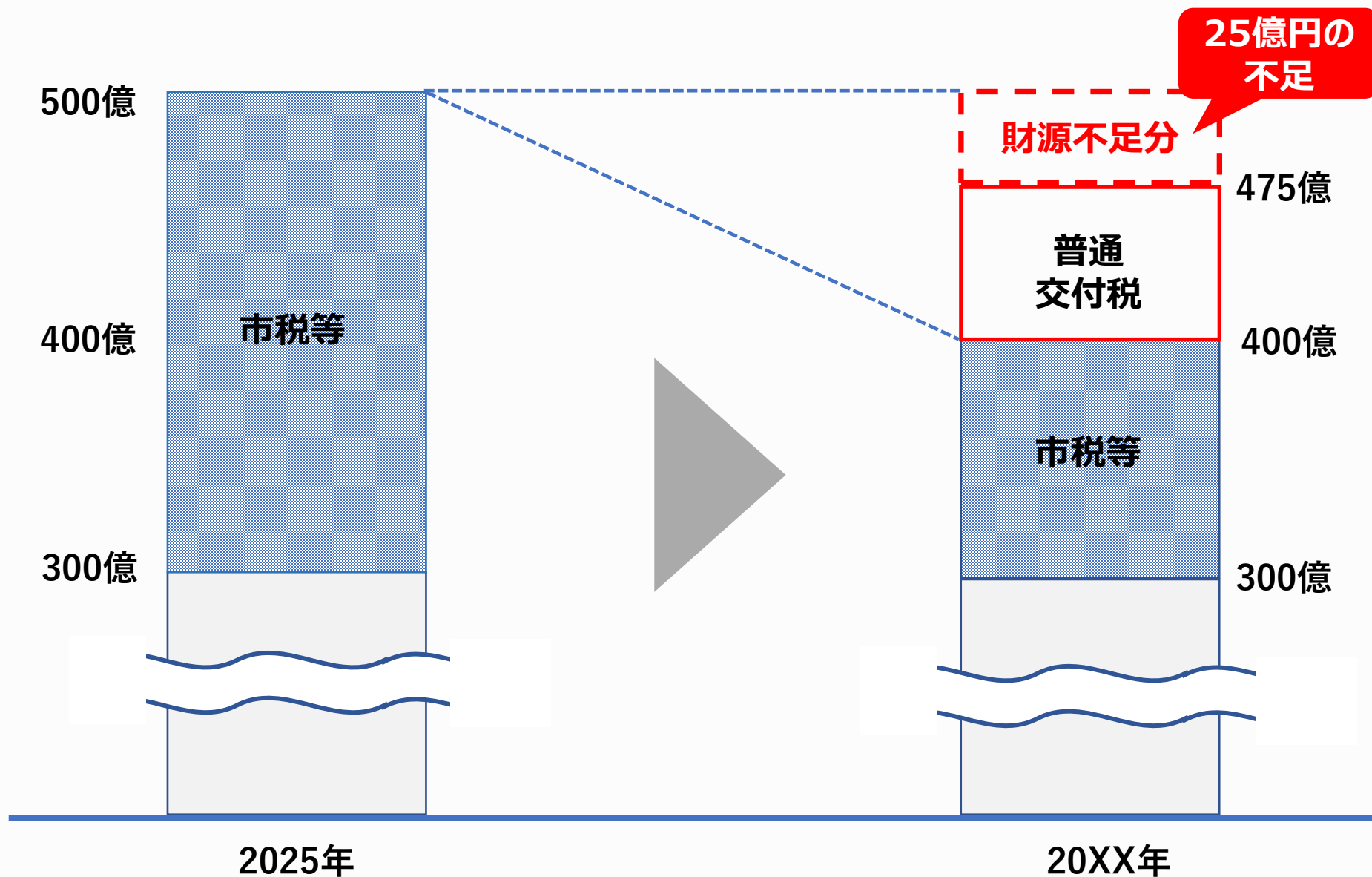


住民福祉の維持



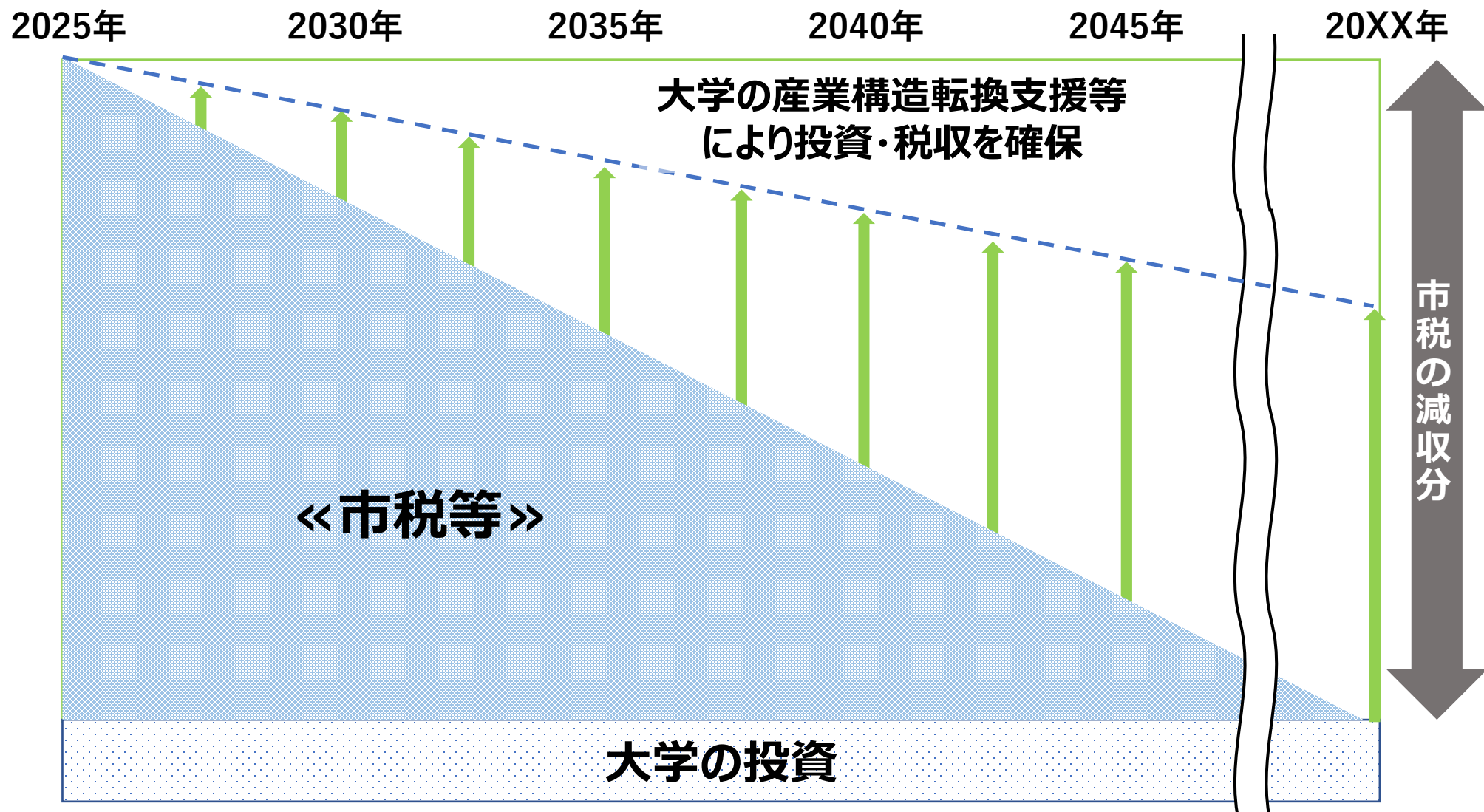
1-7.はじめに:市民サービスへの影響～歳入規模の縮小

生産年齢人口が半減した場合の影響



1-7.はじめに:市民サービスへの影響～歳入規模の縮小

市税減収のイメージ



目指す大学の役割とは・・・

1

**今後の社会が必要とする新しい知識、能力、
思考法などを教育する専門的な人材育成機能**

2

**研究開発機能やシンクタンク機能を併せ持つ、
予測困難な時代の「知（地）の拠点」**

1 - 9 .はじめに：北上市立大学（仮称）基本構想策定委員会

	所属等	氏名	備考
1	岩手大学 名誉教授	藤代 博之	委員長 前岩手大学理事・副学長
2	情報・システム研究機構 監事	村上 雅人	前芝浦工業大学学長
3	東京大学大学院 教授	両角 亜希子	
4	北上商工会議所 会頭	佐藤 直也	
5	北上工業クラブ 理事	小原 学	
6	岩手県高等学校長協会北上支会 理事	金濱 千明	黒沢尻北高等学校校長
7	岩手県立黒沢尻北高等学校PTA 会長	太田 宣承	
8	公認会計士・税理士	堤 研一	
9	岩手大学工学GIRLS	佐々木 莉乃	
10	北上市 副市長	及川 義明	

委員会の開催と審議内容

第1回(R6.10.18)：基本理念、養成する人材像、教育の特色

第2回(R6.12.23)：教育の特色・教育課程・教育方法、教育研究上の基本組織・大学院、学生の定員、
場所、施設の機能・規模、教員・事務組織、学生確保の見込み、学生受け入れの特色

第3回(R7. 1.24)：運営主体、名称、開学時期、整備・運営の収支見込み

第4回(R7. 3.19)：基本構想のまとめ

【様々な意見】

- 市の将来の発展のためには、企業誘致のみではなく人材投資（人材育成と人材誘致）が必要
- 短期的に北上地域への人材供給を促す場ではない
- 開発型企业への変革と将来の成長に繋げるチャンスと考えたい（長期的視野）
- 大学を中心として教育、文化、産業、商業等の振興を図る
- 従来型の大学設立では意味がない（新しい教育理念に沿った大学を設立すべき）
- 時代の変化や社会の要請に対応した工学人材の育成（学生が何を身に付けたか？を重視）
- 全国から世界から学生が集まる特徴を持った大学を創る
- 既存の大学では変革や実現が困難な課題（組織運営、人事、カリキュラム、教育方法等）を新規設立で白紙の状態からデザインし実現できる、またとない機会（後発、小規模、新設、公立の利を生かす）

大学の基本構想

2-1.大学の基本構想：全体の構成

はじめに

基本構想の概要

- | | | | |
|---|-----------------|----|---------------|
| 1 | 大学の目的 | 9 | 学長（理事長）・教員・職員 |
| 2 | 養成する人材像 | 10 | 立地場所 |
| 3 | 教育の特色、教育課程、教育方法 | 11 | 施設の機能・規模 |
| 4 | 教育研究上の基本組織 | 12 | 施設等整備費 |
| 5 | 大学院の設置 | 13 | 大学運営の採算性 |
| 6 | 定員 | 14 | 運営主体 |
| 7 | 学生受け入れの特色 | 15 | 大学の名称（仮称） |
| 8 | 学生確保の見通し | 16 | 開学時期 |

2-2.大学の基本構想：目的

未来の世界を見据え、我が国や世界、地域社会の特性に対応しつつ、本市の持続的な発展のため、このまちにかかわる人がうきうき・わくわくするまちにするために、**グローバルスタンダード（世界標準）な教育研究と人材育成を行う中核拠点**として市立大学を設置する。

大学設置により発展する北上市

雇用・教育の機能不全 ●

● 産業構造変化

「予測困難な社会変化」

労働力の絶対量不足 ●

● インフラ維持困難

グローバル化・情報化 ●

● 人口減少・少子化

現在

2-3.大学の基本構想：教育研究の特徴

グローバルスタンダードの工学系教育と先端的教育の実践

- 地域のみならず全国、海外からも学生が集まる開かれた大学
- ダイバーシティー（多様性）の重視（特に女子学生、女性教員、外国人教員、若手教員等）
- 英語コミュニケーション科目の重点化・必修化による「使える英語」の重視
- グローバルビジネス教養(政治・経済・金融・マーケティング等)の習得
- 海外協定大学との交換留学と教員の相互派遣の推進
- 国際共同研究や先端的研究の推進
- 高度な専門職業人を養成する大学院（修士・博士課程）の設置を開学5年目に予定

時代の変化や社会の要請に対応した創造的な工学人材の育成

- 学生自らが能動的に考え、学びに向かうことを目的にした教授・学習法（アクティブラーニング）の実施により、将来的に学び続け、変化する世界に対応できる実践的な能力（データに関する知識や活用する能力、創造的思考、批判的思考、起業家精神など）の獲得
- 低学年において工学分野（機械工学・電気電子工学・情報工学・材料化学など）の基礎を全員が履修し、高学年においてコースに分かれて高度な専門知識・知的スキルの獲得を目指す「レイトスペシャライゼーション制」の実施
- 到達目標を明示し「学生が何を学んだか」を重視した学修者本位の教育を実施

2-4.大学の基本構想：地域貢献の特徴

企業、他大学、小中学校等との教育・研究における連携

- 大学の理念に賛同する企業等と共同で教育カリキュラムを企画・実施
- 企業との共同研究や社員・市民のリスキリング（学び直し）教育を実施し、地域産業の強化に貢献
- 高大接続や小中学校への出前授業の実施で、将来の理工系人材の育成
- 地域全体を「キャンパス」「学びの場」と捉え、市民・団体との協働・連携・ボランティア活動を推進

大学のデジタルトランスフォーメーション(DX)化の推進

- 大学のDX化実現のための先端システムの導入
- 教育のDX、研究のDXによる教育・研究の質の向上
- 運営のDXにより数値データをもとに議論する文化の醸成と働き方改革の促進

2-5.大学の基本構想：大学経営の特徴

学長の強力なリーダーシップによる大学経営の実現

- 新設大学だから可能となる学長中心の組織運営や教務運営
- 教職協働による効率的な大学運営と施設管理マネジメントの強化
- 組織運営、教務運営の実行・点検・修正・評価のプロセスを実行し、
随時改善を実施
- 客観的な大学評価、教員評価の実施と、女性教員や専門職員等が活躍できる
環境の整備

「豊かで持続可能な社会構築を目指すために 新たな価値の創造に貢献できる工学系人材」

工学分野において、人と自然環境に調和する科学技術の発展を図り、豊かで持続可能な社会の構築を目指すために、幅広い教養、広範な工学的基礎学力と高度な専門的な知識やスキルを身につけ、多角的・グローバルな視点で論理的に現代社会の諸課題の解決や新たな価値の創造に貢献できる人材を育成します。

- I. 人間尊重の精神を涵養し、豊かな教養、グローバルビジネス教養、幅広い工学的基礎と高度な専門性と論理的思考を兼ね備えた人材の育成
- II. 国際的に通用する知識や使える英語スキルを身に付けた人材の育成
- III. 豊かで持続可能な社会の構築を目指して主体的に考え行動する人材の育成
- IV. 現代社会の諸課題の解決や新たな価値の創造に貢献できる人材の育成

2-7.大学の基本構想：基本情報

I. 名称

北上市立工科大学 (Kitakami Institute of Technology)

II. 運営主体

公立大学法人による運営

III. 学部・学科・コース

(学 部) 工学部 (学 科) 先端工学科

(コース) 機械工学、電気電子工学、情報工学、材料化

IV. 大学院

開学5年目に学部に関連する大学院の設置を想定

V. 定員

学部480人 (120人／学年)

博士前期課程120人 (入学定員60人／学年)

博士後期課程 27人 (入学定員 9 人／学年)

VI. 開学時期

令和12年 (2030年) 4 月予定

2-8.大学の基本構想：立地場所 本通り2丁目地内

黒沢尻西小学校

買い物ついでに大学図書館へ寄ったり・・・
中高生の自習スペースとして・・・
保育園のお散歩コースとして・・・

色々な人が訪れる「普段使いの大学」に

ツインモールプラザ

校 地：5,000 m^2
校 舎：18,500 m^2
整備費：約117億円

北上市役所

move street
まちなかの背骨

至北上駅

諏訪神社



2-9.大学の基本構想：整備費とその財源



整備費の規模の想定

単位：千円

項目		整備費の規模及び財源の想定
整備費	土地・整地	10,217,110
	調査設計	
	建物建設	
	設備備品	1,530,000
	整備費計	11,747,110
財源	国費	3,403,572
	市負担	8,343,538
	うち 起債	7,509,000
	うち 一般財源	834,538
	財源計	11,747,110

市の負担は約**83億4300**万円（毎年 3 億円を約 3 0 年で返済することに相当する）

2-10.大学の基本構想：運営費の収支

学部入学定員120名（修士課程60名、博士課程9名）で推計

【収入見込み】

単位：百万円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
検定料	11	11	11	11	14	14	14	14	14	14
入学料	34	34	34	34	39	39	39	39	39	39
授業料	64	129	193	257	289	321	326	331	336	336
運営費交付金	353	529	662	706	794	882	895	908	922	922
計	462	703	900	1,008	1,136	1,256	1,275	1,293	1,312	1,312

【支出見込み】

単位：百万円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
人件費	276	383	503	503	503	503	503	503	503	503
教育研究費	132	218	306	349	424	514	615	633	652	652
一般管理費	48	71	95	101	109	120	132	134	136	136
計	455	672	904	953	1,036	1,136	1,249	1,270	1,291	1,291

【収支見込み】

単位：百万円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
収入	462	703	900	1,008	1,136	1,256	1,275	1,293	1,312	1,312
支出	455	672	904	953	1,036	1,136	1,249	1,270	1,291	1,291
差し引き	7	31	△ 4	55	100	120	26	23	21	21

※単位未満で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません

大学運営の資金は**検定料、入学料、授業料、運営費交付金で賄うことができる**と予想

参考資料

参考 1 : 北上市における大学設置の検討の経過

1. 北上地域大学設置期成同盟会（昭和57年～平成17年）

昭和57年に「北上地域大学設置期成同盟会」が設立され、大学設置に向けた動きが始まったが、経済状況や行政を取り巻く情勢の変化を理由に、平成17年に解散した。

2. 北上市総合計画2021-2030 アクションプラン

若年層の人口流出や、地域産業を支える人材の育成・確保という課題認識のもと、北上市総合計画2021～2030 の「基本方針2『未来を創る人づくり』」、「基本施策2-2『最適な教育環境の構築』」に関連するアクションプランとして「大学等高等教育機関の設置」を掲げた。

3. 北上市への大学等高等教育機関設置のあり方に関する研究（令和3年度）

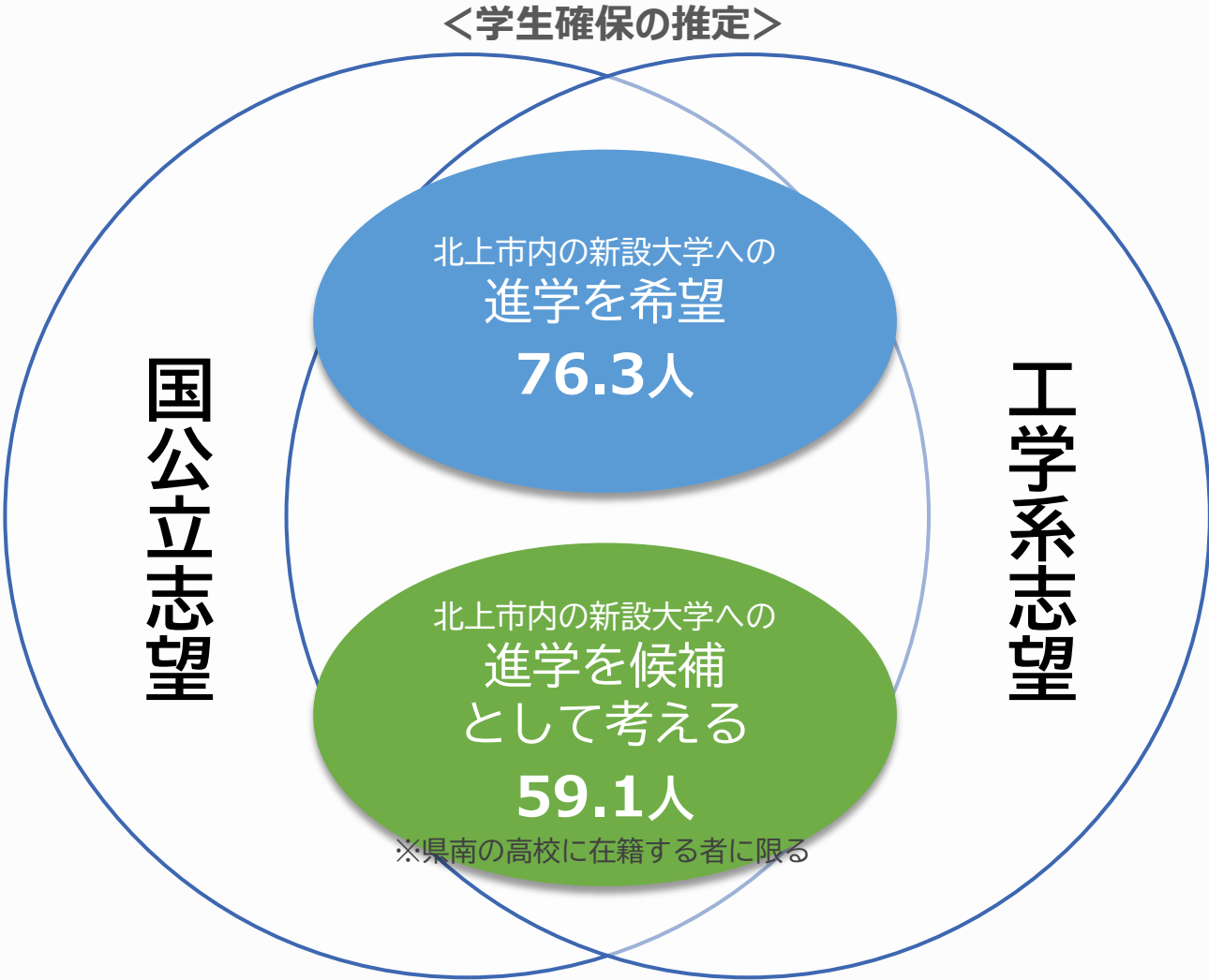
北上市近未来政策研究所が、高等教育機関の設置の必要性や設置によって得られる効果、設置目的と制度の動向を踏まえた設置・運営方法など、まちづくりにおける高等教育機関のあり方を調査研究し、併せて大学等高等教育機関設置の前提となる諸条件等の考察を行い、地域の発展のための「次なる一手」として提言を行った。

4. 北上市への大学設置可能性について（令和4年度）

北上市が、経営者層や事業所等を対象にした調査を実施し、大学設置の必要性和方向性、経費や経済効果の試算を行い、大学設置の可能性を評価した。また、地域の意見を聞く場として北上市大学等設置検討会議を開催（令和4年12月20日、令和5年3月1日）。大学設置によるまちの活性化や、電気・電子工学、情報などの学部設置、他大学との差別化を図るべきとの内容が確認された。

5. 北上市大学設置基本調査（令和5年度）

北上市は、令和4年度までの調査・研究を踏まえ、理工系人材の確保・育成を目的とする新しい大学の設置に向けて必要な事項を調査し、北上市における大学設置可否を判断するための基礎資料を取りまとめたもの。当該調査では、岩手県内の高等学校に在籍する高校2年生とその保護者、並びに岩手県内の高等学校の進路指導担当教員に対して北上市への大学設置に関するアンケート調査を行ったほか、北上市への大学設置に関する有識者懇談会（令和6年2月5日）、北上地域の高等学校との大学設置に関する意見交換会（令和6年3月19日）を開催している。



高校生が進学したい分野 上位

- 1位 工学(18.8%) 2位 人文学(18.1%)
3位 商, 経済, 経営(16.1%) 4位 教育学など(15.4%) 5位 理学(14.0%)

高校生・保護者が希望する設置主体

- 1位 国公立(76.0%)
2位 特に問わない(16.6%) 3位 私立(7.4%)

参考3：社会の状況や意識 出典：北上市「大学設置に関する経営者層デマンド調査」（R4年度）

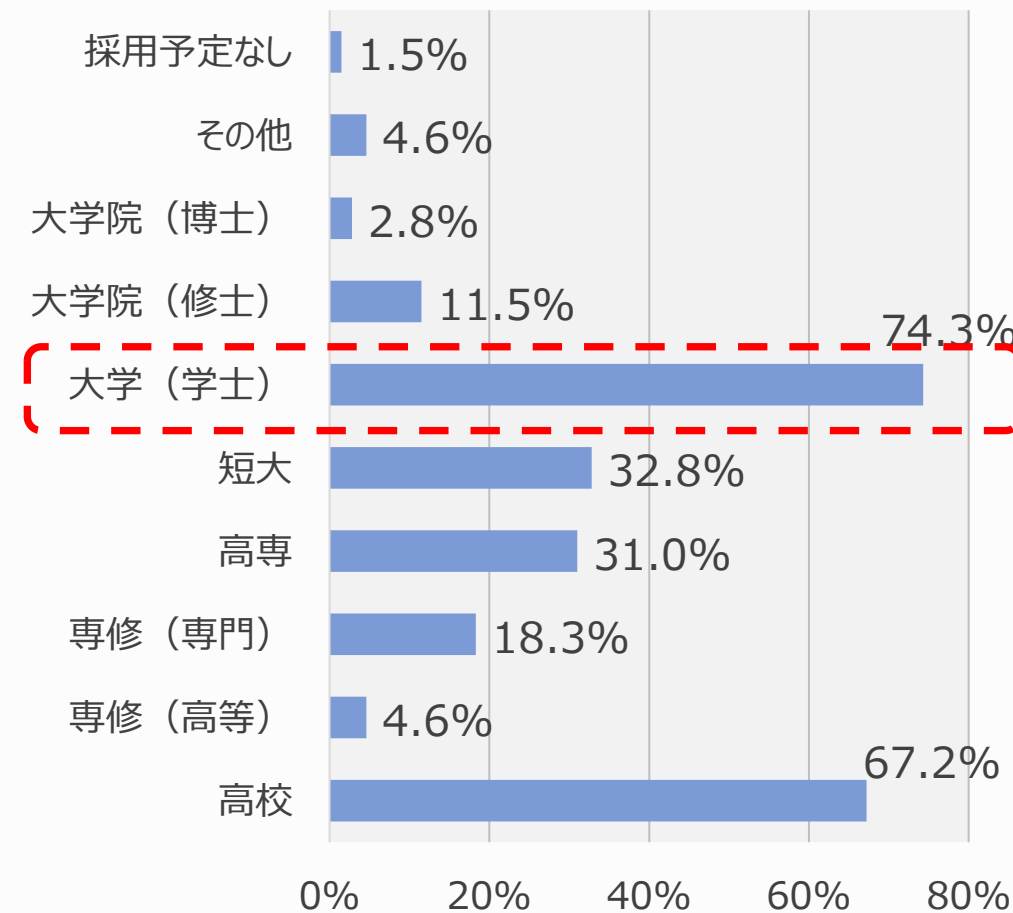
➤ 企業の採用状況及び大卒人材に関するデマンド

県南の企業1,000社を対象にアンケート調査を実施（令和4年度）
回答数は323社（32.3%）

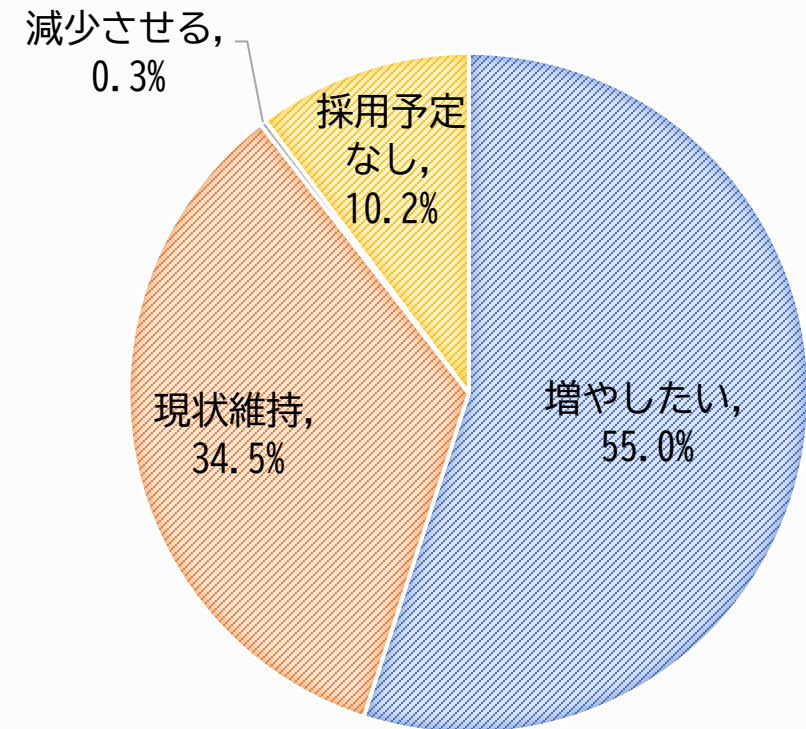
企業が採用したい人材の専門分野 上位

1位 機械(33.1%)	4位 電気・電子(29.4%)
2位 情報(30.3%)	5位 土木・建築(21.7%)
3位 社会科学関係(30.0%)	

＜5～10年先に必要とする人材＞



＜今後の大学新卒者の採用意欲＞ n=322



▶▶ 社会の人材需要と高校生の進学意識は同じ方向であることが確認できる。

参考 4 : 各種団体等への説明会の実施状況



No.	団体等	開催日
1	市政座談会（立花地区）	2024年7月9日
2	定住自立圏首長会議	2024年7月22日
3	市政座談会（黒沢尻東地区）	2024年7月24日
4	市政座談会（和賀地区）	2024年7月26日
5	市政座談会（飯豊地区）	2024年7月29日
6	市政座談会（黒沢尻北地区）	2024年7月30日
7	商工会議所役員会	2024年8月1日
8	市政座談会（黒岩地区）	2024年8月23日
9	市政座談会（鬼柳地区）	2024年8月26日
10	市政座談会（二子地区）	2024年8月27日
11	市政座談会（口内地区）	2024年8月28日
12	市政座談会（岩崎地区）	2024年8月29日
13	市政座談会（江釣子地区）	2024年9月2日
14	市政座談会（黒沢尻西地区）	2024年9月3日
15	市政座談会（更木地区）	2024年10月11日
16	社会福祉協議会と市との懇談会	2024年10月15日
17	藤根地区説明会（市政座談会の代替）	2024年10月16日
18	相去地区説明会（市政座談会の代替）	2024年10月17日
19	北上情報処理学園理事会	2024年10月18日
20	退職校長会和賀会集会	2024年10月25日
21	総合教育会議	2024年10月29日
22	黒沢尻北高校ディベート決勝戦	2024年10月30日
23	北上市社会教育委員会議定例会	2024年10月31日
24	花いっぱい運動市民集会	2024年10月31日
25	デザインフォーラム2024	2024年11月2日

No.	団体等	開催日
26	北上市PTA連合会研修会	2024年11月9日
27	北上ふるさと会の集い	2024年11月9日
28	岩手県高等学校長協会普通部会	2024年11月15日
29	稲瀬地区説明会（市政座談会の代替）	2024年11月25日
30	岩手県建設業協会北上支部	2024年11月27日
31	きたかみ未来創造会議	2024年12月19日
32	北上工業クラブとの意見交換会	2024年12月25日
33	教育研究発表会	2025年1月7日
34	北上市老人クラブ連合会和賀町支部	2025年1月9日
35	北上工業クラブ新春講演会	2025年1月15日
36	北上商工会議所女性会新年会	2025年1月22日
37	北上市地域女性団体協議会	2025年2月8日
38	北上商工会議所常議員会	2025年2月14日
39	北上青年会議所	2025年2月16日
40	北上市職員退職者の会	2025年2月18日
41	北上市基本構想等審議会	2025年2月19日
42	北上商工会議所	2025年3月4日
43	北上南部工業団地七日会	2025年3月7日

計43か所 のべ2,338人

（参考）

アンケート対象人数 1,229人

回答数（回答率） 356件（29.0％）

賛成 295件（82.9％）

反対 53件（14.9％）

参考5：開学までの想定スケジュール

項目		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1	基本構想																												
2	基本計画（設置認可申請図書） ※主な図書は①～⑥																												
2①	基本計画書（様式関係）																												
2②	教員候補者との交渉・教員 名簿・個人調書																												
2③	設置の趣旨等を記載した書類（趣 旨・必要性・特色等）																												
2④	教育課程等の概要・授業科目の概 要・シラバス等																												
2⑤	学則・教授会規程																												
2⑥	学生の確保の見通し等を記載した 書類																												
3	大学設置認可申請																												
4	入学者選抜																												
5	開学																												
項目		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
6	公立大学法人の設立																												
項目		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
7	大学・高専機能強化支援事業																												
項目		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
8	施設設備整備																												
						▼各種計画見直し・関係機関協議				▼土地整備工事				▼工事															
										▲基本設計等				▲実施設計等															